

令和2年度 「都城市立梅北小学校 学校関係者評価」

令和2年度 学校評価報告書(梅北小学校) No.1								
職員自己評価集計結果(基準日令和2年12月25日)【提出率100%】 (達成度の太字は11月の児童のアンケート結果)				割合(%)		平均		
達成目標	達成度	全校共通実践事項		4	3			
たくましい体	○体育の時間や昼休み時間に楽しく運動する子 90%以上	88%	①「楽しい体育の授業」実践		17	83	3.17	
	○「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組む子 85%以上	85%	②運動や遊びの日常化(昼休み時間等)		58	42	3.58	
			③生活リズムチェックの実践・指導・見届け		8	67	25	2.83
	○自ら自分の身を守ろうとしている子 90%以上	90%	④歯の治療の推進(保護者啓発含む)		8	25	67	2.41
			⑤実践力の身につく避難訓練の実施		8	75	17	2.92
職員からのコメント【たくましい体について】								
<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み時間に外でよく遊んでいるので、体力がついている。 ・歯科治療(1月現在 治療率69%)の啓発活動を充実していく。 								
【改善策】(保健体育部)								
○コロナ禍の中で、体育科指導は児童同士の接触をできるだけさげながら実践してきた。次年度も更に工夫・改善していく必要がある。								
学校運営協議会委員の評価 (4……十分達成 3……ほぼ期待どおり 2……もう少し 1……改善を要する)								
○体育活動や運動に親しむ機会を充実させる。(全校共通実践事項の①②)						3.2		
○健康的な生活習慣を確立させ、危機回避能力を育成する。(全校共通実践事項の③④⑤)						3.3		
学校運営協議会委員のコメント								
○本年度は、コロナの影響で地域での活動も全てキャンセルの中で、子ども達はのびのびと日々を過ごしているようです。先生方は初めての経験でいろいろとご苦労、ご心配もあったと思いますが、変わらぬけやきっ子の学校生活が送れたのではないのでしょうか。								
○昼休み時間に、運動場で元気よく遊んでいる姿を目にします。一輪車や遊具を活用し、体力の向上につながると思います。								
○手洗い・うがいをする習慣もコロナのこわさを感じさせ、自然にできることを望みます。子どもはよくやっていると思っている。								
○オープンスクールもなく、児童の様子を観察することができなかった。								
学校評議員の評価を受けての改善策								
○基本的な生活習慣を児童が身に付けるため、特に「早寝・早起き・朝ご飯」と「コロナ対策(手洗い・うがい・マスク・三密を避ける)」の2つに重点を置き、学校便り、学級通信等で家庭と連携して児童・保護者の意識を高め実践していく。								

令和2年度 学校評価報告書(梅北小学校) No.2								
職員自己評価集計結果(基準日令和2年12月25日)【提出率100%】 (達成度の太字は11月の児童のアンケート結果)				割合(%)		平均		
達成目標	達成度	全校共通実践事項		4	3			
豊かな心	○自分から明るいあいさつや返事ができる子 80%以上	75%	①いつでも、どこでも、誰にでも大きな声であいさつ返事			75	25	2.75
	○「ノートーク清掃」「学校ボランティア」に取り組む子 90%以上	91%	②ノートーク清掃の指導(師弟同行)		42	42	16	3.25
			③自主的な学級の係活動、学校ボランティア		20	70	10	3.1
	○「自分がされていやなことは絶対にしない」という心がけをもって行動する子 85%以上	82%	④道徳の時間・学級活動の時間の充実		10	80	10	3
			⑤「自分がされていやなことは絶対にしない」ことの励行			75	25	2.75
職員からのコメント【豊かな心について】								
<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を中心に朝のボランティアに取り組んでもらってありがたかった。 ・人権教育も同時に進めたい。 								
【改善策】(生徒指導部)								
○学校・家庭・地域が連携して、あいさつの輪を広げていく。								
学校運営協議会委員の評価 (4……十分達成 3……ほぼ期待どおり 2……もう少し 1……改善を要する)								
○礼儀や規範意識・公共心などの社会性を育てる。(全校共通実践事項の①②③)						3.2		
○思いやりの心もち、助け合って行動できるようにする。(全校共通実践事項の④⑤)						3.4		
学校運営協議会委員のコメント								
○あいさつを積極的にできる子、できない子いますが、こちらからあいさつをすると元気なあいさつが返ってきます。								
○清掃時間にきちんと役割分担して、ノートークが徹底されているように思います。責任感がきちんと育っているのかなと思います。								
○単学級であり、人間関係の構築には教職員も指導に苦慮されていると思うが、心身の成長度合いに応じた対応をお願いしたい。								
○コロナ禍で、家庭内の親子のコミュニケーション(ふれあい)が増えた気がします。								
学校評議員の評価を受けての改善策								
○「あいさつ宮崎県ナンバー1」を掲げ、コロナ禍で児童との交流はできなかったが、今後とも児童・全職員・保護者・地域が一体となったあいさつ運動を実践していく。								

令和2年度 学校評価報告書(梅北小学校) No.3									
職員自己評価集計結果(基準日令和2年12月25日)【提出率100%】 (達成度の太字は11月の児童のアンケート結果)				割合(%)				平均	
達成目標	達成度	全校共通実践事項		4	3	2	1		
自ら学ぶ力	○めあて達成を目指して意欲的に学習する子 80%以上	86%	①「学習のルール」の指導の徹底			100			3
	☆CRTで全国平均を上回る子 60%以上		②落ち着いた学習環境の工夫(雰囲気作り)		20	60	20		3
			③一人一人の習熟度に応じた課題の工夫			70	30		2.7
	○すすんで読書に親しむ子 80%以上	77%	④読書の推進(読書月間)と読み声の徹底		20	50	30		2.9
職員からのコメント【自ら学ぶ力について】									
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サポーターの先生や委員会の児童が様々な取組をしていただいていたが良かった。 ・読書量の個人差が出ないような指導が必要である。 									
【改善策】(教務学習部)									
○コロナ禍の中で、「主体的で、対話的な学び」をめざした授業改善は難しかった。児童における学力の個人差を改善していくために個別指導の充実を図る。									
学校運営協議会委員の評価 (4……十分達成 3……ほぼ期待どおり 2……もう少し 1……改善を要する)									
○学習意欲の向上を図り、授業を充実させる。(全校共通実践事項の①②③)								3.3	
○すすんで読書をする。(全校共通実践事項の④)								2.8	
学校運営協議会委員のコメント									
○コロナ禍で家で過ごすことが多くなったことをチャンスにとらえ、テレビやゲームを楽しむ子の意欲が変わり、テレビの内容、読書の内容、自分の趣味へと新たに見つけることができた子もいると思います。									
○児童一人一人が自分の行動の中身を見つめ直し、成長の糧にできないでしょうか。それは、先生が児童一人一人を見つめ、束にして見ないことだと思います。									
○児童一人一人を大切にみつめることをお願いします。									
学校評議員の評価を受けての改善策									
○次年度も主題研究を継続して、学級づくりを土台にした授業の充実を目指し児童の学力の向上に努めていく。									

令和2年度 学校評価報告書(梅北小学校) No.4										
職員自己評価集計結果(基準日令和2年12月25日)【提出率100%】 (達成度の太字は12月の児童のアンケート結果)				割合(%)				平均		
達成目標	達成度	全校共通実践事項		4	3	2	1			
家庭地域との連携	○地域の方々の協力者 300人以上(環境整備を除いた数)	300人 (参観)	①積極的な学習支援ボランティアの活用		9	36	46	9	2.46	
	○参観日や学校行事の参加率 85%以上		95%	②ホームページや学校便りによる情報の発信		67	33			3.67
				③参観日等の積極的な呼びかけ		10	60	30		2.8
			④PTA活動の充実		10	90			3.1	
【改善策】(総務部)										
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの活用(人材の確保)を図る。(読み聞かせボランティアだけでなく、いろいろなボランティアの募集を試みる。) ・次年度へ向けて、「学習支援ボランティア」の募集を保護者・地域へ2月中に配付する。 										
学校運営協議会委員の評価 (4……十分達成 3……ほぼ期待どおり 2……もう少し 1……改善を要する)										
○地域の人材や資源を授業に積極的に取り入れる。(全校共通実践事項の①②)								3.8		
○相互の情報交換を密にすることで、連携を深める。(全校共通実践事項の③④)								3.5		
学校運営協議会委員のコメント										
○行事や子ども達の表彰等、学校便りでたくさん細かくお知らせしてくださるので、よく分かってよかったです。										
○学校の様子を積極的にホームページにあげてくれるのは、大変よいと思います。										
○地域人材の活用も十分であります。新規人材の掘り起こしも今後を見据えて検討してください。										
○どの子の可能性も芽を伸ばす方向でがんばってください。										
学校評議員の評価を受けての改善策										
○学習支援ボランティアへの協力依頼を保護者に配付したり、中郷地区の広報誌に掲載していただいたりして、児童の学力の向上を目指していきたい。										